

オキサトミドDS小児用2%「サワイ」

【この薬は？】

販売名	オキサトミドDS小児用2%「サワイ」 OXATOMIDE DS for Pediatric 2% [SAWAI]
一般名	オキサトミド Oxatomide
含有量 (1g中)	20mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アレルギー性疾患治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、アレルギーの原因となる物質（ヒスタミンなど）や炎症をおこす物質の作用を抑え、アレルギー症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。
 - 気管支喘息
 - アトピー性皮膚炎
 - 蕁麻疹
 - 痒疹
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去に、オキサトミドD S小児用「サワイ」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・長期ステロイド療法を受けている人
 - ・肝臓に障害がある人または過去に肝臓に障害があった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量 (オキサトミドD S小児用2% 「サワイ」として)	体重1 kgあたり 0.025g (最高量は体重1 kgあたり 0.0375g)
飲む回数	1日2回 (朝および就寝前)

●どのように飲むか？

少量の水に溶いて飲むか、そのままコップ半分程度の水またはぬるま湯で飲みます。

オキサトミドD S小児用2%「サワイ」を溶かした後はすぐに飲んでください。
他の液体シロップと混ぜて飲むことは避けてください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に使用してはいけません。朝の分の飲み忘れに気がついたとき（昼ごろまでであれば）にはできるだけ早く飲んでください。それ以降の場合は1回分を飛ばして次の指示された時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

錐体外路症状（首のねじれやつっぱり、眼球が上を向く、筋肉のこわばり、手足のふるえやこわばり、動きが遅い）や全身のけいれん、意識障害、眠け、血圧の低下、脈が遅くなる、ものの形が見えにくいなどの症状があらわれる可能性があります。このような症状があらわれたら、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠けがあらわれることがありますので、自動車の運転、機械の操作、高所作業などの危険を伴う作業は行わないでください。
- ・この薬は、気管支拡張剤やステロイド剤とは異なり、すでに起こっている喘息の発作や症状を速やかに改善する薬ではありません。正しい使用方法について、患者さんまたは家族の方は、十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
肝炎 かんえん	体がだるい、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、唾液、痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、食欲不振、発熱、体がかゆくなる、疲れやすい、力が入らない、冷汗が出る、ふらつき、出血が止まりにくい
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白（そうはく）、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
口や喉	吐き気、嘔吐、喉のかゆみ、唇や口内のただれ、唾液、痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血
胸部	動悸、息苦しい
腹部	上腹部痛
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	皮膚が黄色くなる、全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、あおあざができる
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

ドライシロップ	
形状	
性状	白色の粒状

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	オキサトミド
添加剤	軽質無水ケイ酸、白糖、ヒドロキシプロピルセルロース

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：沢井製薬株式会社 (<https://www.sawai.co.jp>)

お客様相談室

電話番号：0120-373-381

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社休業日を除く）